

化学療法計画書

ID					指示医師:		
氏名					指導医師:		
生年月日					投与開始予定日: 年 月 日		
実施部署		発行日			投与終了日: 年 月 日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50		

病名	多発性骨髄腫
治療法	DBd療法

		1	1	3
抗癌剤・商品名		ダラザレックス	ベルケイド注	デカドロン錠
規格		100mg/5mL 400mg/20mL	3mg	4mg
一般名		ダラツムマブ	ボルテゾミブ	デキサメタゾン
一日投与量(規定)		16mg/kg	1.3mg/m ² (皮下注)	20mg/day
患者情報から算出した一日投与量		800 mg	1.95 mg	20mg/day
実際の投与量		800 mg	1.95 mg	20mg/day
		16 mg/kg	1.3 mg/m²	20mg/day
投与日	1-3コース目	day1,8,15	day1,4,8,11	day1,2,4,5,8,9,11,12
	4-8コース目	day1	day1,4,8,11	day1,2,4,5,8,9,11,12
	9コース目以降	day1		day1のみ医師の判断で投与可
1クール期間		21日間(1-8コース目) 28日間(9コース目以降)		
予定クール数				
検査スケジュール		原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施		

適応基準	再発・難治性多発性骨髄腫
推奨経口剤	〇このレジメンは最小化催吐性リスク群です。静注、経口関わらず制吐剤は不要です。
禁忌	1.本剤、ボルテゾミブ、マンニトール又はホウ素に対して過敏症の既往歴のある患者 2.妊婦又は妊娠している可能性のある女性患者 3.デスマプレシン酢酸塩水和物(男性における夜間多尿による夜間頻尿)を投与中の患者
中止基準	投与前の好中球数:1000/mm ³ 未満、血小板数:50,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期(CTCAE ver4.0における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	<p>●ダラザレックス 重大 1. Infusion reaction 2. 骨髄抑制 3. 感染症 4. 腫瘍崩壊症候群 その他 (10%以上) 呼吸困難 (5%以上10%未満) 上気道感染、貧血、咳嗽、悪心、下痢、嘔吐、疲労、発熱</p> <p>●ベルケイド 重大 1. 間質性肺炎(3.2%)、胸水(1.9%)、急性肺水腫(0.4%)、急性呼吸窮迫症候群(頻度不明) 2. うっ血性心不全(2.5%)、心嚢液貯留(0.5%)、心肺停止、心停止、心原性ショック(以上頻度不明) 3. 末梢性ニューロパシー(19.9%)、感覚減退(18.6%)、末梢性感覚ニューロパシー(2.7%)、神経障害性疼痛(1.5%)、末梢性運動ニューロパシー(1.1%)、錯覚(0.5%)、4. 血小板減少(71.3%)、白血球減少(39.9%)、貧血(27.1%)、好中球減少(26.7%)、リンパ球減少(20.8%)、発熱性好中球減少症(1.5%)、汎血球減少(0.5%) 5. イレウス(3.2%) 6. GOT上昇(10.4%)、GPT上昇(11.1%)、γ-GTP上昇(0.8%)、ALP上昇(12.9%)、ビリルビン上昇(1.8%)、B型肝炎ウイルス再活性化 7. 低血圧(3.8%)、起立性低血圧(2.5%) 8. 腫瘍崩壊症候群(5.3%) 9. 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死症(TEN)(以上頻度不明) 10. 発熱(29.7%) 11. 可逆性後白質脳症候群(0.1%) 12. 進行性多巣性白質脳症(PML): 頻度不明</p> <p>その他 1. 帯状疱疹(12.5%) 2. 感染(36.5%) 3. 下痢(17.8%)、便秘(17.7%)、悪心(11.2%)、食欲不振(13.6%)、嘔吐(8.4%)、腹痛(3.7%) 4. 発疹(14.0%) 5. 腎機能障害(7.4%) 6. 倦怠感(10.5%) 7. 肺炎(4.4%) 8. 高血糖(4.6%) 9. 低アルブミン血症(4.1%)、低ナトリウム血症(7.4%)、高カリウム血症(5.0%)、低カリウム血症(6.0%) 10. 筋骨格痛(8.1%) 11. 浮腫(4.2%)</p> <p>●デカドロン 重大 1. 誘発感染症、感染症の増悪(頻度不明) 2. 続発性副腎皮質機能不全、糖尿病(頻度不明) 3. 消化性潰瘍、消化管穿孔、肺炎(頻度不明) 4. 精神変調、うつ状態、痙攣(頻度不明) 5. 骨粗鬆症、骨頭無菌性壊死、ミオパシー、脊椎圧迫骨折、長骨の病的骨折(頻度不明) 6. 緑内障、後囊白内障(頻度不明) 7. 血栓塞栓症(頻度不明)</p> <p>その他(すべて頻度不明) 月経異常、下痢、悪心・嘔吐、胃痛、胸やけ、腹部膨満感、口渇、食欲不振、食欲亢進、多幸症、不眠、頭痛、めまい、筋肉痛、関節痛、満月様顔貌、野牛肩、窒素負平衡、脂肪肝、浮腫、血圧上昇、低カリウム性アルカローシス、中心性漿液性網脈絡膜症等による網膜障害、眼球突出、白血球増多、ざ瘡、多毛、脱毛、色素沈着、皮下溢血、紫斑、線条、掻痒、発汗異常、顔面紅斑、紅斑、創傷治癒障害、皮膚菲薄化・脆弱化、脂肪織炎、発疹、発熱、疲労感、ステロイド腎症、体重増加、精子数及びその運動性の増減、しゃっくり</p>
備考	●COPDや気管支喘息などFEV ₁ (1秒率) < 80%となる呼吸器系の合併症を有するはダラザレックス投与日とその翌日に抗ヒスタミン薬内服を投与すること。また、ステロイド+β2刺激薬(もしくは抗コリン薬)(ICS+LABA/LAMA)の吸入薬の投与を考量すること

DBd療法【1～3コース目】 観察記録①⑧

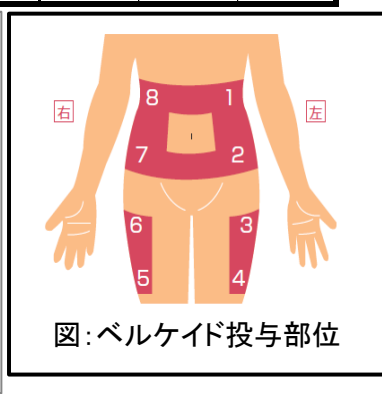
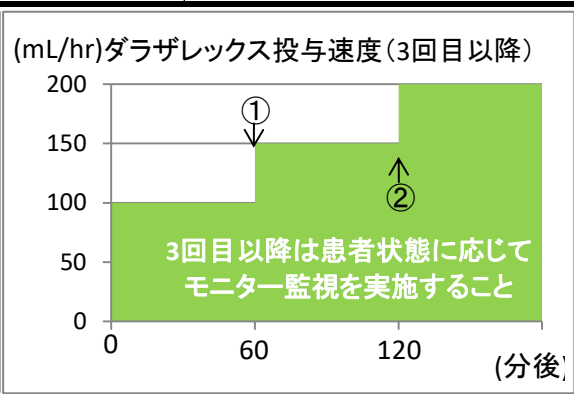
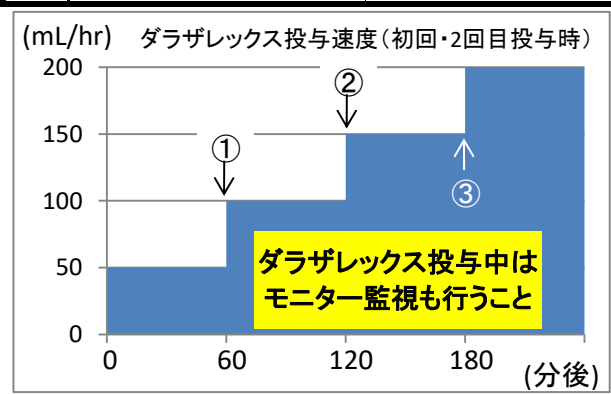
所要時間:

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日: _____ クール: _____ 回目: _____ 施行前内服薬(): _____ 入外()

医師	指示医師: ダラザレックス (mg) 一般名(ダラツムマブ) ベルケイド (mg) 一般名(ボルテゾミブ)	抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止		

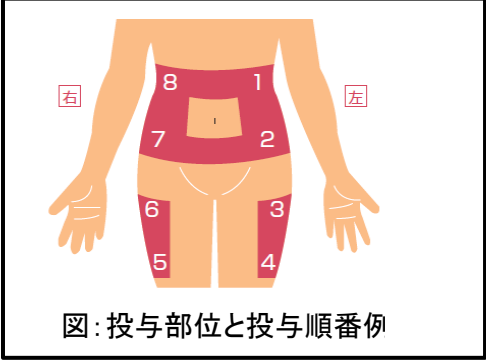
投与指示	本体	側管		投与開始時間	調剤	実施
		カロナール錠(500mg) 1錠		内服(ダラザレックス開始30分前)		
	デカドロン錠(4mg) 5錠		内服(ダラザレックス開始30分前)			
	生食20mL+ポララミン 1A		静注(ダラザレックス開始30分前)			
	ベルケイド(投与部位は下記参照)		皮下注			
	生食100mL		ルートキープ			
	<input type="checkbox"/> 初回投与 生食1000mL+ダラザレックス 【Total 1000mLとなるように調製】		※下記参照 ※ フィルター付き 点滴ラインを使用			
	<input type="checkbox"/> 2回目以降 生食500mL+ダラザレックス 【Total 500mLとなるように調製】		※下記参照 ※ フィルター付き 点滴ラインを使用			



DBd療法【1～3コース目】 観察記録④⑪

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日:		クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: ベルケイド(mg) 一般名(ボルテゾミブ)	抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由 抗がん剤以外の薬剤の変更・追加			
		投与開始時間	調剤	実施	
投与指示	ベルケイド(溶解方法は下記参照)	皮下注			

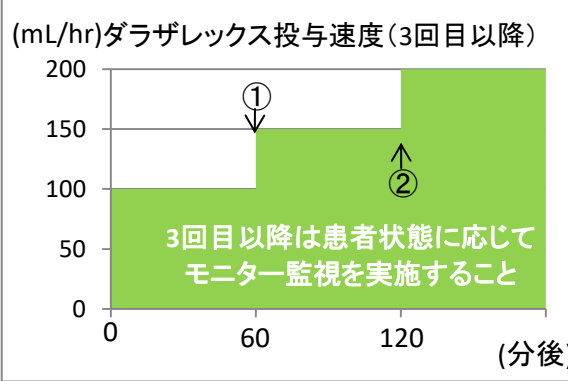
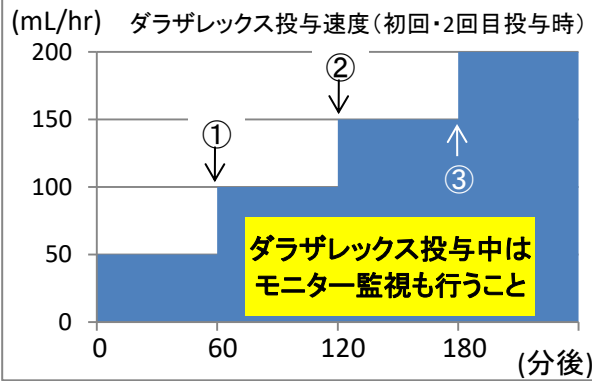


DBd療法【1～3コース目】 観察記録⑮

所要時間:

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: ダラザレックス (mg) 一般名(ダラツムマブ)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	カロナー錠(500mg) 1錠		内服(ダラザレックス開始30分前)	
	生食20mL+ポララミン 1A		静注(ダラザレックス開始30分前)	
	デカドロン錠(4mg) 5錠		内服(ダラザレックス開始30分前)	
	生食100mL		ルートキープ	
		生食500mL+ダラザレックス 【Total 500mLとなるように調製】	※下記参照 ※ フィルター付き 点滴ラインを使用	



DBd療法【4～8コース目】 観察記録①

所要時間:

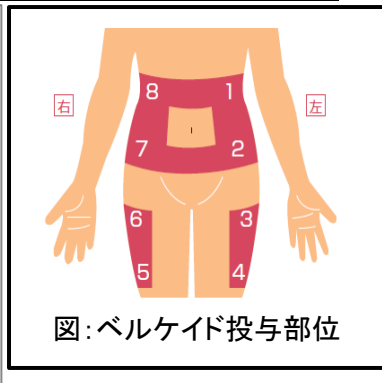
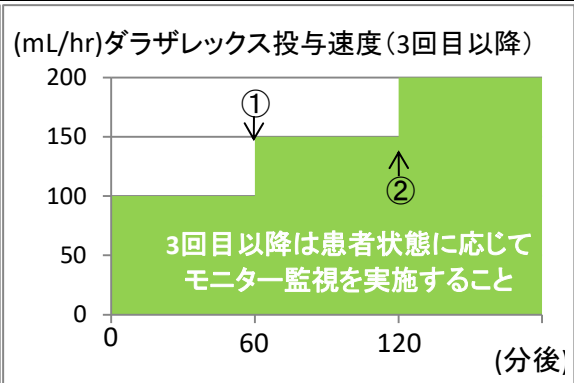
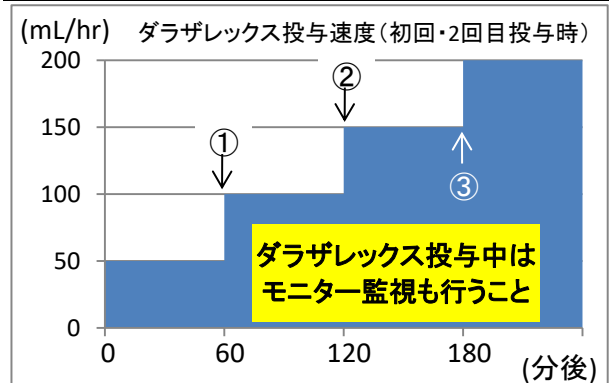
氏名: ID() 年齢: (才)



施行日: _____ クール: _____ 回目: _____ 施行前内服薬(): _____ 入外()

医師	指示医師: ダラザレックス (mg) 一般名(ダラツムマブ) ベルケイド (mg) 一般名(ボルテゾミブ)	抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止		

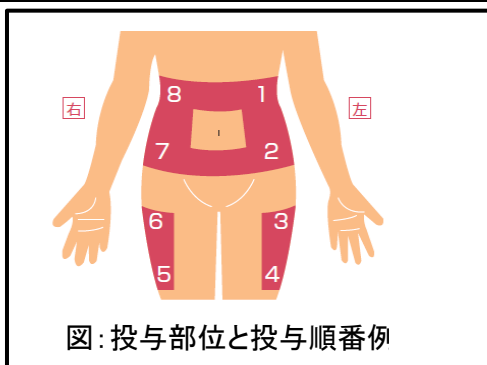
	本体	側管		投与 開始時間	調剤	実施
投与 指示	カロナル錠(500mg) 1錠		内服(ダラザレックス開始30分前)			
	デカドロン錠(4mg) 5錠		内服(ダラザレックス開始30分前)			
	生食20mL+ポラミン 1A		静注(ダラザレックス開始30分前)			
	ベルケイド(投与部位は下記参照)		皮下注			
	生食100mL		ルートキープ			
	生食500mL+ダラザレックス 【Total 500mLとなるように調製】		※下記参照 ※ フィルター付き 点滴ラインを使用			



DBd療法【4～8コース目】 観察記録④⑧⑪

氏名: _____ ID(_____) 年齢: (_____ 才)

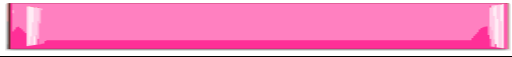
施行日: _____		クール	回目	施行前内服薬(_____)	入外(_____)
医師	指示医師: ベルケイド(_____ mg) 一般名(ボルテゾミブ)	<b style="color: red;">抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由 抗がん剤以外の薬剤の変更・追加			
		投与 開始時間	調剤	実施	
投与 指示	ベルケイド(溶解方法は下記参照)		皮下注		



DBd療法【9コース目以降】 観察記録①

所要時間:

氏名: ID() 年齢: (才)



施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: ダラザレックス (mg) 一般名(ダラツムマブ)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	カロナール錠(500mg) 1錠		内服(ダラザレックス開始30分前)	
	生食20mL+ポララミン 1A		静注(ダラザレックス開始30分前)	
	デカドロン錠(4mg) 5錠		内服(ダラザレックス開始30分前)	
	生食100mL		ルートキープ	
	生食500mL+ダラザレックス 【Total 500mLとなるように調製】		※下記参照 ※ フィルター付き 点滴ラインを使用	

